

目指す学校像	中高一貫校として特色ある取組を進めるとともに、高いレベルの教育活動を積極的に展開し、明るく活力があり、高い志をもって輝き続ける生徒を育成する。
--------	---

重点目標	1 中高一貫教育校の特性を活かした質の高い学びを展開する。 2 高校との連携を一層強化するとともに、安心・安全な学校に向けた取組を充実させる。 3 開かれた学校づくりに向けて、魅力ある「市立浦和」の教育活動を積極的に発信する。 4 「市立浦和」の伝統を培ってきた教職員の高い指導力を維持する。
------	---

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学校自己評価							学校運営協議会による評価	
年度目標							実施日令和6年2月13日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1	【現状】 中高一貫教育校の特性を活かした多様な教育活動を進めるため、中高教職員間の連携が年々強化されるとともに、昨年の「さいたま市 STEAMS 教育」の研究成果を活かした質の高い授業を実施できている。 【課題】 新学習指導要領や高大接続改革等を踏まえ、「教育DX」「主体的・対話的で深い学び」「学びの自律と個別最適な学び」の実現に加え、市教委委嘱「教科横断的な視点に立った資質・能力の育成」の研究、ICTの活用等による学習方法の工夫改善を進め、更なる学力向上に努める。	・中高一貫教育校の特性を活かした指導の充実 ・中高連携した授業の充実 ・教員の指導力向上と授業改善による質の高い学びの充実 ・「教科横断的な視点に立った資質・能力の育成」の研究の充実	①ポストコロナにおける中高合同行事等の教育活動を充実させる。 ②高校教員による中学授業や教科会など、中高教職員の連携を充実させる。 ③新学習指導要領に対応した学習指導、生徒の学びを深めるICT機器の活用や学習形態の工夫を実施する。 ④研究推進委員会を主体とする「教科横断的な視点に立った資質・能力の育成」に関する研究及び研究発表会を実施する。	①評価アンケートでの肯定的回答数(率)。 ②中高で連携した授業の充実が図られたか。 ③生徒への授業アンケートにおける「授業の満足度」等への肯定的回答数(率)。 ④市教委委嘱の研究発表会を11月に開催し、本校の研究成果を市内の学校と共有したか。	①評価アンケート項目「学校生活の充実度」や「授業の満足度」など、多数の項目で生徒及び保護者の肯定的回答率が90%を超えた。 ②中高合同教科会を実施し、全学年で高校教員による授業を予定通り実施することができた。 ③授業アンケート項目「ていねいで分かりやすい指導」は各教科平均3.6点であった(4点満点)。「意欲の高まるわくわくする授業」など、その他の項目も高い水準であった。 ④教育委員会委嘱の「教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成」の研究に取り組み、11月7日(火)に研究発表会を開催して、市内外の学校等に研究成果を発表することができた。	B	○結果の分析により、肯定的回答が高い水準で維持できるよう改善に努める。 ○中高一貫教育校として、本校の特色を活かした授業改善やシステム等を、中高教員で協働してさらに研究していく。 ○生徒の「学習意欲」や「やり抜く力」が高まる、個別最適な学びや学び合いを推進していく。 ○これまでの研究成果を基盤とし、各教員の指導力を高め、本校生徒に相応しい学力を伸ばすために、新たな研究に取り組みたい。	○コロナ禍前の教育活動への復活に向けて学校全体で取り組み、アンケートの結果から生徒の学校生活や授業への高い満足度を知ることができた。教職員の生徒に対する熱意ある指導を評価したい。 ○昨年度及び今年度の研究発表の成果と課題を踏まえながら、今後も中高一貫教育校の特色を活かしつつ、教育活動の新たなチャレンジと更なる充実を期待したい。
2	【現状】 入学時から中高6年間を見通した高い志を育成するために、学習、学校・学年行事、部活動と、中高連携の中でバランスの取れた教育活動を展開し成果を上げている。 【課題】 浦和中開校以来の教育理念「知性」「創造」「活力」ある生徒育成に向けて、生徒の高い志の育成に引き続き取り組むとともに、生徒一人ひとりに寄り添う「心のケア」の推進により、生徒が安心できる学校生活の充実を継続する必要がある。	・定期テスト前実施の学習会“Let’s Study Week”等での主体的で計画的な学習習慣と学習意欲の醸成 ・中高連携した活動の充実 ・生徒や保護者と連携した指導の充実	①定期テストを軸に、高校卒業後の「将来の選択」も視野に入れた、学習習慣の育成と学習意欲の向上に取り組む。 ②内部進学した高校生が中学生の学習をサポートする機会を企画・運営する。 ③中高合同の学校行事や部活動等の活動を充実させる。 ④年3回のカウンセリングウィークを実施し、生徒一人ひとりに寄り添い、きめ細やかな面談を充実させる。	①定期テスト前の“Let’s Study Week”等で、主体的で計画的な学習習慣の形成と学習意欲の醸成ができたか。 ②中学生対象の夏期講習で、内部進学高校生の学習サポートを提供できたか。 ③体育祭や文化祭、部活動等、中高合同の活動をコロナ禍前の姿に戻すことができたか。 ④カウンセリングウィークを、全校で年3回(5月：二者面談、7月二者(三者)面談[希望者]、11月三者面談を計画通り実施したか。	①定期テスト前の“Let’s Study Week”や放課後学習会、補習の実施やスコラ手帳の活用を通し、主体的で計画的な学習習慣の形成と学習意欲の醸成につなげている。 ②夏期講習において内部進学高校生の学習サポートを実施することができた。 ③中高合同の活動をコロナ禍とコロナ禍前で比較し、良い部分等を精査しながら戻すことができた。 ④全校で年3回のカウンセリングウィークを、5月、7月、11月の計3回、計画通り実施することができた。	B	○“Let’s Study Week”、夏期講習での内部進学高校生学習サポートや外部講師による特別授業など、生徒のやる気を高める環境づくりに来年度も継続して取り組みたい。 ○高校進学や卒業後の進路選択を意識し、学習意欲を高くもち、粘り強く努力する生徒を育成すべく、授業改善等を研究する。 ○共通の面談に加えて、引き続き生徒一人ひとりに適切なタイミングで生徒に寄り添う指導を継続していく。	○“Let’s Study Week”の取組、中学夏期講習での高校生学習サポートや外部講師による特別授業など、本校の特色を活かした教育活動は大変魅力的である。今後も継続実施をして、生徒の主体性を高めてほしい。 ○カウンセリングウィークなど一人ひとりに寄り添う教育相談の充実は、生徒の安心できる環境構築につながっている。引き続き積極的に推進してほしい。
3	【現状】 中高一貫教育校である「市立浦和」は、中学、高校ともに例年高い人気を有し、中学適性検査や高校入試で多くの志願者を集め、高い倍率となっている。 【課題】 中高合同、中学独自で実施する行事等、魅力ある「市立浦和」の様々な教育活動を、引き続き積極的に発信することで、より多くの志願者を確保し、高い人気の維持につなげていく必要がある。また、ポストコロナにおける地域等と学校の連携について、引き続き学校運営協議会で検討いただき、推進したい。	・生徒募集の充実 ・特色ある教育活動の外部への発信	①学校説明会(小4～6児童及び保護者対象)を開催し、本校の特色ある教育活動の紹介や本校生徒による校内案内を実施する。 ②土曜授業公開(一般公開)を実施する。 ③校外での学校説明会参加や進学情報雑誌への記事掲載等の機会を活用し、積極的に情報公開を行う。 ④生徒が生き生きと学校生活を送る様子を、ホームページを活用して積極的に発信する。 ⑤コミュニティスクール(学校運営協議会)を推進する。	①8月26日(土)、9月16日(土)、9月30日(土)に学校説明会の開催及び参加者数。 ②一般に向けた土曜授業公開の実施及び参加者数。 ③生徒募集活動の実施数。 ④本校ホームページの更新回数。 ⑤各学期1回学校運営協議会を開催したか。	①学校説明会を計画通り3日間、延べ10回開催し、計1650名の参加者数があった。 ②年間12回の土曜授業を実施した中の4回を一般公開とし、計1493名の参加者数があった。 ③校外での学校説明会参加、進学情報雑誌の取材機会の拡大を図ることで、生徒募集活動を活性化した。 ④昨年度のように毎日更新することはできなかったが、教育実践の発信は続けてアクセス数は24万件を超えた。 ⑤学校運営協議会での検討により、体育祭や文化祭の警備について、保護者・地域の方の協力を得られた。	A	○本校の魅力を積極的に発信することで、適性検査における高い受検者倍率を維持する。 ○学校説明会での生徒による学校案内や小学生への働きかけは好評であった。今年度新たに3年生による母校訪問を実施した。本校の魅力は生徒であり、活躍の場をさらに増やしたい。 ○ホームページを活用して、本校の魅力を積極的に発信していく。 ○引き続き中高合同の学校運営協議会を推進し、特色ある教育活動を推進していく。	○適性検査での高倍率を鑑みると、本校の特色や魅力的な教育活動が外部へ十分に伝わっていることがわかる。今後も、生徒が直接活躍する学校説明会や学校公開の実施、本校ホームページの活用などにより、引き続き積極的な広報活動を期待したい。 ○今年度の新たな取り組みである母校訪問は、生徒自身も楽しみにしている。引き続きの実施を期待したい。
4	【現状】 中高合同教科会や研修会への参加、教育企業との連携等により、各教職員が高い指導力を維持している。 【課題】 各教職員のキャリアに応じた研修受講奨励を推進するとともに、業務の更なる効率化を図る必要がある。	・一人ひとりの教職員がやりがいを持ちメリハリある業務遂行ができる学校運営	①年間を通して、研究推進委員会を中心に校内研修を充実させる。 ②管理職が教職員一人ひとりと対話し、研修受講奨励を行う。 ③業務改善における課題について、管理職が教職員一人ひとりと対話し、学校全体にフィードバックする。	①校内研修の実施内容及び回数。 ②教職員のキャリアに応じた研修受講奨励を実施したか。 ③年間を通して管理職との面談を実施し、新たな業務改善の取組を実施したか。	①計6回の校内研修を実施し、教職員の資質向上を図った。 ②研修一覧を掲示するとともに、適宜、管理職から研修受講を奨励した。 ③積極的に管理職と教職員がコミュニケーションをとり、ICTを活用した会議の推進等、業務を効率化することができた。	B	○引き続き伝統校「市立浦和」としての良さを感じる教育活動を復活するとともに、研修等とおして教職員の資質・能力の向上を図り、指導力を高めながら生徒一人ひとりの学力の向上や心身の健やかな育成、学校生活の充実を目指したい。	○研修や教材研究等で研鑽し、学び続ける教師像を具現化している本校教職員の情熱を評価したい。 ○本協議会で今年度話題となった地域連携などについては、来年度も研究を続けてほしい。